

東京都議会議員選挙 中野区ネット討論会 政策比較

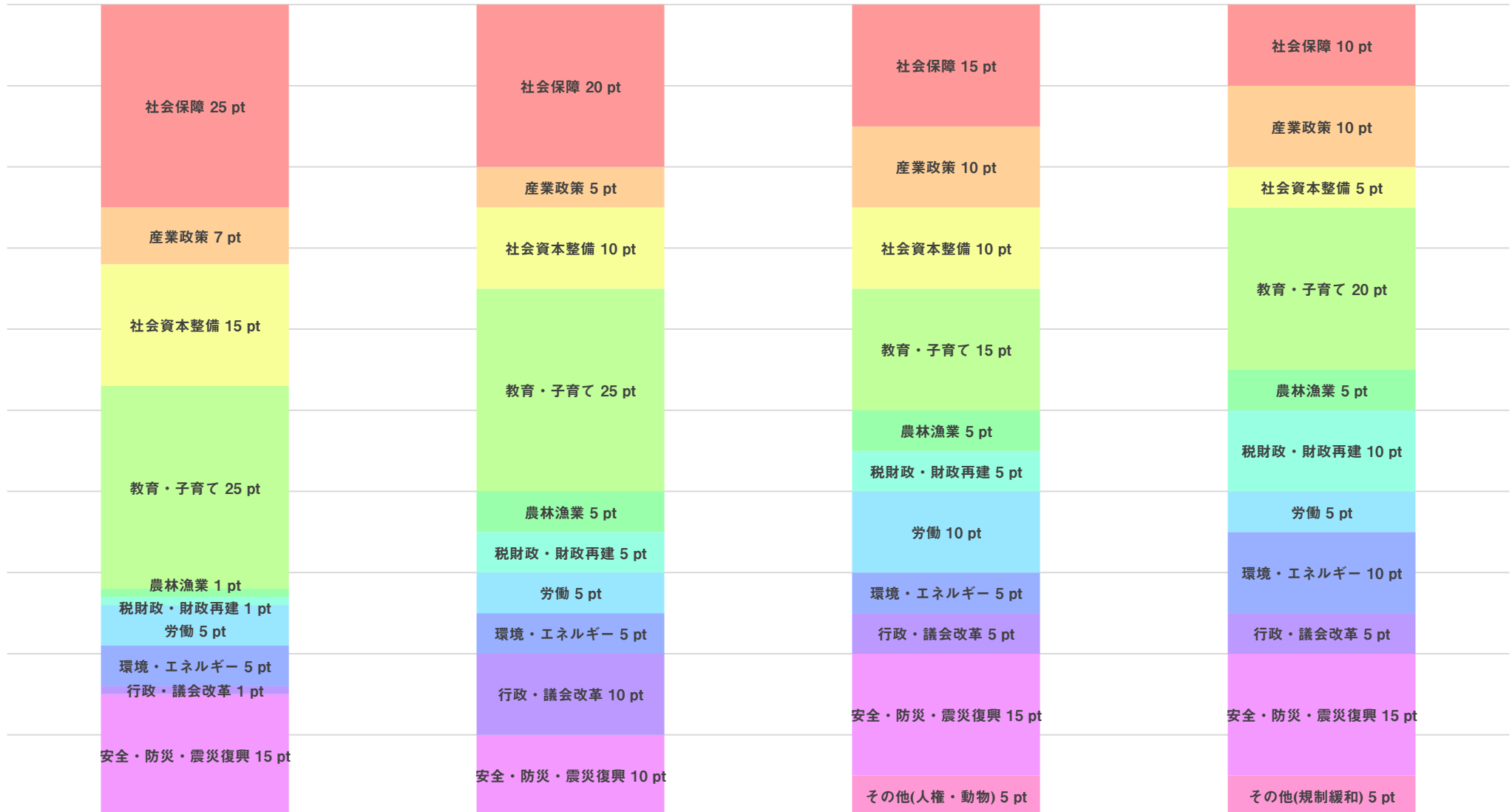
政策分野の注力度（予算を100ポイント持っているとしたときに、各分野への配分）

西沢けいた

荒木ちはる

高倉良生

いでい良輔



※候補者へヒアリングシートを送付し回答が得られたものをもとに2021年6月23日現在で作成しました

東京都議会議員選挙 中野区ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第3優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

西沢けいた

荒木ちはる

高倉良生

いでい良輔

政策分野

安全・防災・震災復興

行政・議会改革

その他（動物）[動物愛護]

その他（規制緩和）

期限

2年

いますぐ対応

2025年

10年間

数値目標

地域防災計画1編追加
または2編に修正

すべて最大限に行うべき

新たな動物愛護センター整備

中野区内の昼間人口・
法人税の増加

予算

0.5億円

予算はかかりません！議会全体がやる
気になればすぐにでもできます。

施設規模等による

（規制緩和のみのため）予算不要

手段

複合災害への備え。
コロナ収束前に震災と水害が同時に起こることなどを想定した防災計画を策定すべきである。いつきてもおかしくない震災に加え、気候変動に対する懸念が広がる中、中野区内にも神田川、妙正寺川が流れており、氾濫への対策は重要である。こうした震災と水害が同時に発生した場合の備えが現在は十分ではない。まずは地域防災計画において想定し、具体的な備えに繋げることが重要であると考え。コロナ禍にある現在は、既に断続的に災害が発生していると考え、仮に今の時点で災害が発生すれば直ちに複合災害である。感染対策を踏まえた避難所運営などを含めた市区町村との役割などについても改めて備えを進めるべきである。

○議会活力度ランキング1位を目指す（ワースト3位から都ファ第一党となつてから8位へ上昇したが首都として1位へ）
○女性議員比率のアップ
○オンライン議会の実現
○タブレット端末の積極活用
○水面下でのやりとりで決まってしまう理事会なども公開、非公開の議会運営を禁止
○都民参加の強化
○議員提案条例の提出強化
○議員年金の復活禁止
○政党復活予算を二度と設けないオープンな仕組み

私は2015年立ち上げの都議会公明党「動物との共生を進めるプロジェクトチーム」の座長を務め、都議会本会議等で動物施策を積極的に取り上げてきた。動物の殺処分をなくすため、老朽化した現在の東京都動物愛護相談センターに代わる、保護機能を強化した新たな動物愛護センターの整備を進める。動物虐待防止などに取り組む団体からの要望や意見交換を踏まえ、東京都における動物虐待防止を進めるため、都や警察などの対応を強化する。動物を飼育する高齢者の入院・入所等により行き場を失う動物が出ることをなくすため、動物と一緒に入居できる介護施設の普及など高齢化対策と動物愛護のコラボも進める。

新しい時代へ向けて規制改革の推進。
様々な規制の改革により新たに生み出される技術、付加価値による東京・中野の成長を促す。国家戦略特区・スーパーシティ構想を活用し、大胆な規制の緩和で東京・中野において新たな価値と活力を生み出し、世界で戦えるコンテンツ・産業の創出を目指す。例えば、新交通の実験のための道路利用、移植に特化した医療、都市部におけるドローン飛行など特区制度を活用することで、中野区を実験フィールドとし、前例のない社会実験を行い、法律、利用者・住民の理解、コストなどの諸課題を検証しながら、社会実装することを目指す。特区の有効活用をすることでヒト・モノ・カネ・情報が集まり、さらなる発展をする好循環を生み出す。